

# 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和4年第13週（令和4年3月28日～令和4年4月3日）

福岡県感染症情報センター

## ■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	8	127	195	2,971
腸管出血性大腸菌感染症	1	18	6	165
重症熱性血小板減少症候群	1	1	1	5
アメーバ赤痢	1	7	6	105
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	3	1	40
梅毒	2	81	97	2,219
百日咳	1	2	8	132

※新型コロナウイルス感染症の最新の発生状況等は別紙をご覧ください。

## ■ 定点把握疾患報告数

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
インフルエンザ	0	0.00	-	14	0.00
RSウイルス感染症	24	0.20	0.52	423	0.13
咽頭結膜熱	14	0.12	0.70	229	0.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	73	0.61	1.06	620	0.20
感染性胃腸炎	487	4.06	0.93	8,720	2.78
水痘	10	0.08	1.43	167	0.05
手足口病	4	0.03	0.40	176	0.06
伝染性紅斑	3	0.03	-	33	0.01
突発性発しん	53	0.44	0.98	800	0.26
ヘルパンギーナ	0	0.00	-	37	0.01
流行性耳下腺炎	7	0.06	1.00	65	0.02
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	2	0.00
流行性角結膜炎	4	0.15	4.00	63	0.09
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	5	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	6	0.01
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	3	0.01
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	1	0.00

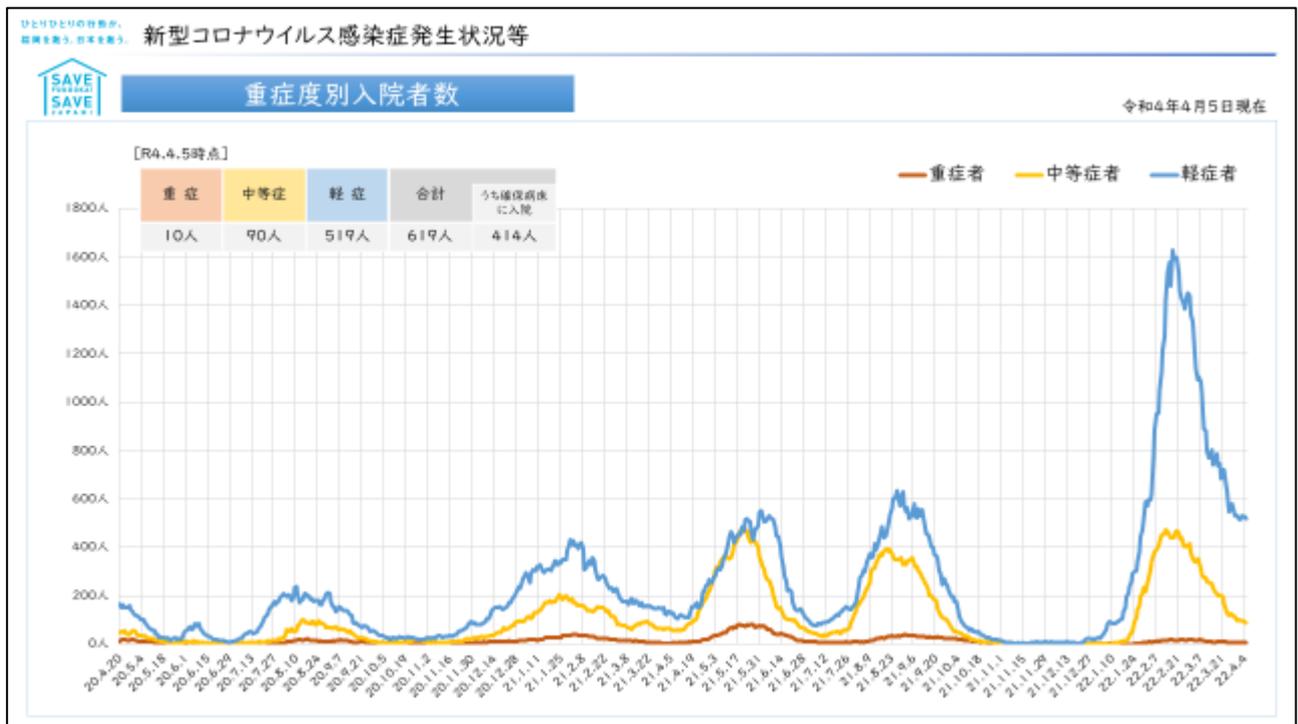
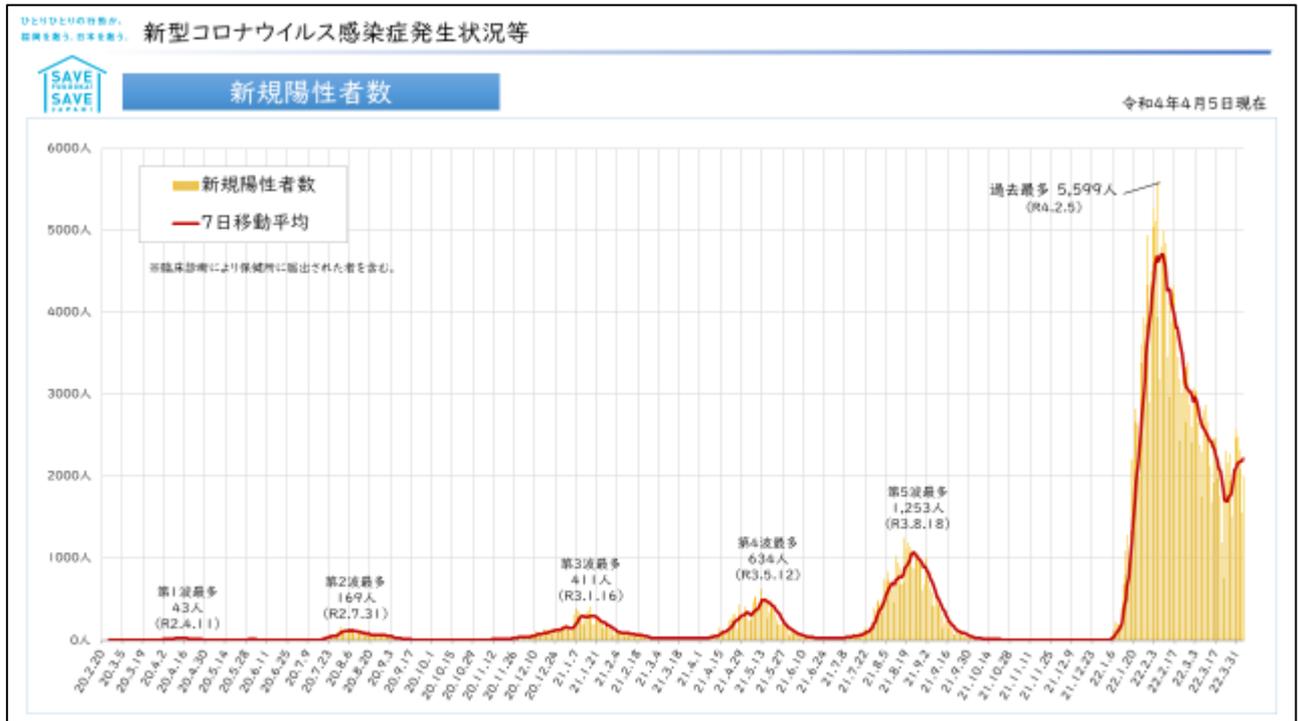
 : 警報レベル

 : 注意報レベル

## ■ コメント

- ・今週は、県内で1例目の重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の報告がありました。SFTSは、病原体を持つマダニに咬まれて感染します。潜伏期間は6日から2週間程度です。主な症状は発熱と消化器症状（おう吐、下痢など）で、倦怠感、リンパ節の腫れ、出血症状なども見られます。山登りなど草の茂った場所に入る場合は、マダニに咬まれないよう、長袖、長ズボンを着用し、肌の露出を少なくすることが大切です。
- ・福岡県感染症情報ホームページ([http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc\\_fukuoka/](http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/))では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

# ○県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について



・福岡県では、下記のホームページにて随時、発生状況や感染予防策などの情報提供を行っています。

◇新型コロナウイルス感染症ポータルページ

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>